

私たちの使命

東京都戦没者追悼式

東村山市遺族会会长 吉川広之

昨年八月十五日、六十
九年目の終戦記念日を迎
えて、「文京ジックホー
ル」で都と都遺族連合会が
主催する戦没者追悼式が、み先から託された東
京で執り行われました。遺族
ら六百四十名が参列し、安心な世界への想いを心に刻
て、正年の時報に合わせて、東京から未来を切り
替える遺族の御靈に黙祷をして、平和を願いま
さげ、平和を願いまし

た。外添都知事は、式辞で「戦没された方の祖
國發展への思いを心に刻
めたい」と述べられま
した。

また、同日、全国戦
没者追悼式が行われて、
追悼式の当日は大袋を

運営委員長に良かったよ

と、東京から未来を切り
替えるお言葉が都の会場

に渡され、黄泉に送られました。

まことに、愛する家族の命を守
るために、愛する命を惜しませ

て、命を失った家族の一人と
柱を失った家族の一人と

果たせたらと思えて安堵し

に繋がれば、後世に

は、積極的に戦争の悲惨
をつたえて語りたい。
悲惨な苦しみ、悲しみを

語る事で意識して席を立つ、おむね知り合いの世人となりまし

た。今生きている私たち
は、積極的に戦争の悲惨

終わって席に戻る、隣

さんと張りつめた空氣の
中で雑談の声もなく、緊

張感が増すばかりでし

た。

練習通り追悼の言葉が述べ

られた。母親の生きる姿を

見ついた瞬間に、改めて

自分について有意義な時

間になりました。

また私は戦争で一家の

柱を失った家族の一人と

して、母親の生きる姿を

見ていただきたくてうれ

ざいました。

本当に貴重な体験をさ

せていただきありがとうございました。

ついで、母親の生きる姿を

見ていただきたくてうれ

ざいました。

本当に貴重な体験をさ

せていただきありがとうございました。

謹賀新年